

その病気にすぐ役立つ、最新治療法 厳選!

YOMIURI SPECIAL 109

受けたい医療

先進の技術から、心と体にやさしい治療まで、専門記者が分かりやすく解説

2018

年版

「病院の実力」特別版
読売新聞医療部編

本体 800円+税

がん

胃、大腸、肝臓など／女性のがん
新しい技術／免疫療法

心臓・血管

脳

腰・関節

感染症

子どもの健康

女性の健康

高齢者の健康 ほか



読売新聞社

MRガイド下集束超音波治療とは……



MRガイド下集束超音波療法は画期的な非侵襲的（メスを使わない）治療で、医師は頭蓋の中の画像をMRIで確認しながら、治療部位を特定し超音波を一点に誘導させ照射、治療の状態を常にモニタリングします。温度の測定も行い、標的組織の熱凝固状況を画像情報と温度情報から確認します。この技術により比較的安いで、効果的な非侵襲的治療が可能になりました。厚生労働省の認可済みであるMRガイド下集束超音波療法の機器エクサプレートは本態性振戦の非侵襲的な外科的治療用医療機器として臨床利用が進んでいます。

本態性振戦とは……

症状
本態性振戦はふるえのみを症状とする病気で、ふるえてペンや箸をうまく使えなかったり、コップなどの飲み物をこぼしたり、声が震えるなどの症状がでます。手足などを動かす信号を調整する脳の部分が、変調をきたして症状を起こしていると考えられています。日常生活に不自由をきたすようになると治療が必要です。

治療法
従来の本態性振戦の治療法では、薬物療法（β遮断薬や抗てんかん薬）があり、脳の手術を要する場合には、脳の病変部を電極で凝固する高周波凝固術と胸のペースメーカーに似た装置を植え込み、病変部に極を挿入し電気で刺激を与え調整する脳深部刺激療法があります。いずれの治療法も副作用や合併症を伴う恐れがあります。一方で集束超音波治療は切らない治療として、患者の身体に負担が少ない治療として注目されています。

中高年に多い
手や頭がふるえる

脳の治療部位に集束超音波を照射

本態性振戦の先進医療

日本神経治療学会によると本態性振戦の国内推計患者は300~1200万人。この本態性振戦の先進治療である、MRガイド下集束超音波療法とは頭蓋骨外部から超音波を照射し、頭内の治療部位に集束させ、体の不随意運動を起こす部分を熱凝固し、変調をおこす部分の機能を停止させる療法である。従来の開頭手術や放射線治療と違い、超音波とMRIの2つの技術を同時に用いる治療のため、治療する部位をMRIで随時確認しながらより限定したうえで開頭をせずに治療ができる。3時間（~4時間）程で済み、放射線による被曝もなく、副作用も比較的抑えることが期待できます。今後はパーキンソン病や筋肉がこわばるジストニアや書痙など他の病気にも対象が広がることが期待されている。

集束超音波治療機器エクサプレート

集束超音波治療機器エクサプレート による治療に実績のある病院



医療法人社団 英明会
大西脳神経外科病院
兵庫県明石市大久保町江井島1661-1
TEL.079-938-1238(代表)
http://www.cnc.akashi.hyogo.jp/

本院は2000年に、兵庫県東播磨地域で先進医療機器を備え救急に対応した本格的な脳神経外科病院として、設立されました。以来、人々の健康と社会福祉に貢献し続けたこと
が認められ、米ベストドクターズ社が選定するベストドクターに4回連続選出されています。
集束超音波治療器は3年前に導入、翌年から本態性振戦の治療を開始し、20件の治療件数を数えています。
本院の特長は先進機器をより安全かつ効果的に使用するために、定位脳手術の専門家である機能的脳神経外科医の指導を得ながら治療していることです。病状に悩まされることなく気軽にご相談ください。（大西英之理事長・院長）

兵庫県

ベストドクター選出は信頼の証
機能的脳神経外科医と共に治療



医療法人 楷行会
名古屋共立病院
名古屋市中川区法華1-172
TEL.052-362-5151(代表)
http://www.kaikou.or.jp/kyouritsu/

1979年に透析医療を行う病院として開業した本院は、近隣病院と連携して地域医療の底上げに努めながら、一方で脳への精密な放射線治療装置ガンマナイフ、がんの放射線治療装置ノボリス、本態性振戦治療の集束超音波装置を導入するなど、先進医療を積極的に取り入れてきました。
本態性振戦は診断が大事なことから、治療も含めて名古屋大学医学部脳神経外科と連携、東海エリア初導入となった集束超音波治療器で、本年7月から機能的脳神経外科医という専門医と協力しながら、しっかりと診断と専門的な治療体制を整えて治療に臨んでいます。（津川隆彦集束超音波治療センター長）

愛知県

地域医療の土台を築きながら
先進医療に積極姿勢で挑む



社会医療法人 孝仁会
北海道大野記念病院
札幌市西区宮の沢2条1-16-1
TEL.011-865-0020(代表)
https://ohno-khoen.jp/

本院は2016年に新築移転し、三大疾病と運動器疾患を中心とした急性期医療を展開する病院として新たなスタートを切りました。先進医療の導入に努め、集束超音波治療器も新病院開院と共に導入し、本態性振戦の治療も行います。
集束超音波治療はまだ認知度が低いために講演会を開催し、北海道内の神経内科や脳神経外科の先生に治療法を解説、患者を救うために連携をお願いしています。
現在、札幌医科大学と連携、専門医のアドバイスを得ながら治療体制を整えています。この治療方法は今後、脳腫瘍などにも活用できると考えています。（寺川雄三 脳神経外科医長 FUS治療責任医師）

北海道

新築の病院で先進医療を提供
本態性振戦治療の準備も整う



社会医療法人 北斗
北斗病院
帯広市稲田町基橋7-5
TEL.0155-48-8000(代表)
https://www.hokuto7.or.jp/

「革新に満ちた医療への挑戦」と、新たな組織価値の創造の理念のもと先進の医療機器を導入。集束超音波治療（FUS）機器も2014年に国内3施設目として導入しました。本態性振戦治療では脳神経機能外科を専門とした医師（非常勤）や日本神経学会認定神経内科専門医（常勤）を中心に、既に2015年中に10例の治療を良好な結果で終了しています。
また本院は日本初のパーキンソン病に対するFUS臨床試験を実施し、現在5例の治療実績があります。この低侵襲で有用な新しい治療が一人でも多くの患者さんのお役に立てるようFUSチーム一丸となってサポート致します。（田村愛子 臨床研究支援センター）

北海道

豊富な経験にもとづいた脳機能外科の専門医や
神経内科専門医を中心に本態性振戦治療に挑む

集束超音波治療機器エクサプレート による治療に実績のある病院



医療法人和昌会
貞本病院
愛媛県松山市竹原町11-6-1
TEL.089-945-1471(代表)
http://sadamoto-hsp.jp/

本院は1971年に中四国地方で脳神経外科専門病院のさがげとして開設されました。最近でも3T MRI装置、フラットパネル搭載型多目的血管撮影装置、4D超音波診断装置等の先進医療機器の早期導入とそれらの研究実績が国内外で高く評価されています。2013年には日本で2台目となる集束超音波治療器・エクサプレートを導入し、本態性振戦の低侵襲治療に道を開きました。既に臨床試験10例、自由診療5例の患者さんを治療しています。
また愛媛大学脳神経外科と連携し高度な医療の研究・提供に努め、チーム医療により万全の体制を整えています。（伊賀瀬圭一 脳神経外科部長）

愛媛県

先進機器の積極的な導入と
チーム医療で万全の治療体制



医療法人 友誼会
彩都友誼会病院
大阪府茨木市彩都あさぎ7-2-18
TEL.072-641-6898
http://www.saito-yukukai-hp.jp/

本院は2007年にがん治療に重点を置く民間病院として開院し、一切らずにがんを治療することを目指してきました。14年に導入した集束超音波治療器も開頭手術をせず本態性振戦を治療することが目的です。大阪大学と連携し既に15件の治療を終え、骨密度の問題で治療を断念したケースを除き好結果を得ています。
じつは集束超音波という治療法は20年ほど前に子宮筋腫の治療で活用したことがあり、本態性振戦の治療にその経験が活かされました。今後、パーキンソン病、そして当病院内の専門分野である脳腫瘍などがん治療に活用できることを望んでいます。（中村仁信院長・大阪大学名誉教授）

大阪府

「一切らずに治療する」をモットーに
集束超音波治療で実績を積み



一般社団法人 徳洲会
湘南藤沢徳洲会病院
神奈川県藤沢市辻堂神台1-5-1
TEL.0466-95-1177
http://fujisawatokushukai.jp/

本院は2016年に新築移転し、三大疾病と運動器疾患を中心とした急性期医療を展開する病院として新たなスタートを切りました。先進医療の導入に努め、集束超音波治療器も新病院開院と共に導入し、本態性振戦の治療も行います。
集束超音波治療はまだ認知度が低いために講演会を開催し、北海道内の神経内科や脳神経外科の先生に治療法を解説、患者を救うために連携をお願いしています。
現在、札幌医科大学と連携、専門医のアドバイスを得ながら治療体制を整えています。この治療方法は今後、脳腫瘍などにも活用できると考えています。（寺川雄三 脳神経外科医長 FUS治療責任医師）

神奈川県

本態性振戦10例とパーキンソン病3例を治療
神経内科と脳神経外科の連携に強み



医療法人
熊谷総合病院
埼玉県熊谷市中西四丁目5-1
TEL.048-521-0065(代表)
http://www.kumasou.or.jp/

昨年5月より新法人として事業を開始した本院は、脳神経外科の部門では救急医療中心から機能的脳神経外科分野の充実を図るために先進医療の導入を進めています。
この治療法は現在、本態性振戦の低侵襲治療に焦点が当てられていますが、本院が特に専門としているてんかん治療やパーキンソン病、脳腫瘍の治療にも有効であり、今後新しい治療法として応用していくことが考えられています。（森野道晴 名誉院長）

埼玉県

機能的脳神経外科分野の充実へ
新治療法の応用にも積極姿勢